

次は (g) の問題です。こんどの問題と (h) の問題にはそれぞれに問いが二つありますから注意してください。はじめに文章だけを読みます。少し長いですが注意してきてください。

(g) Tom gets up early in the morning and goes out for a walk in the park near his house.

He usually leaves his house at half past seven. It takes him half an hour to go to school on foot. (2回)

では問いの1をいいます。

How long does it take him to walk to the school ? (2回)

それでは答えをいつってください。

- 1 It takes him 50 minutes. (2回)
- 2 It takes him 40 minutes. (2回)
- 3 It takes him 30 minutes. (2回)
- 4 It takes him 20 minutes. (2回)

つぎは問い2のです。

What time does he get to the school? (2)

答えをいつってください。

- 1 He usually gets there at half past eight. (2回)
- 2 He usually gets there at eight (2回)
- 3 He usually gets there at half past seven. (2回)
- 4 He usually gets there at seven. (2回)

次は (h) の問題です。これも問いが二つありますから注意してください。

(h) Henry learns many subjects at school among them are biology chemistry, geography and history. Henry likes history better than any other subject, because it tells many things about the past life of people. (2回)

では問いの1をいいます。

What is his favorite subject at school ? (2回)

それでは答えをいつってください。

- 1 It's geography. (2回)
- 2 It's chemistry. (2回)
- 3 It's biology. (2回)
- 4 It's history. (2回)

次は問いの2です。

Why is he interested in it ? (2回)

それでは、答えをいつってください。

- 1 Because it tells many things about our past life. (2回)
- 2 Because it tells many things about different countries in the world. (2回)
- 3 Because it tells many things about

plants and animals. (2回)

4 Because it tells many things about our health. (2回)

(アナ) これで放送による高等学校英語の学力調査を終ります。それでは、問題用紙の2番から続けて答えを書いてください。

昭和36年度全国学力調査高等学校英語、今の学力調査の問題は、文部省全国学力調査問題作成委員会が作成しました。

## 5 調査の結果

### A 課程別の得点

結果の処理にあたっては、課程別の外に生徒の英語履習単位数に応じて、次の3段階に分けている。

- P 普通教科書使用者で15単位以上の生徒  
Q 普通教科書使用者で3単位～14単位の生徒  
R 単位数に関係なく初修用教科書使用者のすべての生徒。

課程別の平均得点の全国平均得点に対する比率-到達率一では、普通課程が66.7がで最も低く、工業課程は86.3で最も高い数値を示し、他の農業・商業・家庭課程はともに70台である。

履修単位数からは、Pが66.4で最も低く、次はRの73.1、Qは87.9で最も高い数値である。

1表 課程別・履習単位数別の成績

項目	課程	普通	農業	工業	商業	家庭	全課程
P	県	39.9	—	—	31.3	—	39.1
	国	60.9	—	—	45.9	—	58.9
	到達率	65.5	—	—	68.2	—	66.4
Q	県	20.6	—	35.9	29.9	22.1	31.1
	国	42.5	23.5	41.6	36.4	29.5	35.4
	到達率	48.5	—	86.3	82.1	74.9	87.9
R	県	—	18.5	—	—	—	18.5
	国	22.2	21.6	—	36.1	30.2	23.3
	到達率	—	85.6	—	—	—	73.1
計	県	38.6	18.5	35.9	30.4	22.1	35.7
	国	57.9	23.2	41.6	41.7	29.6	48.3
	到達率	66.7	79.7	86.3	72.9	74.7	73.9

### B領域別の正答率

全課程のPについて、その領域別の成績をみると「書くこと」が最も悪い。

これに属する問題では「10」の「与えられた、英文の意味を変えないで、この英文に書き換えて文を構成する能力」をみるものが到達率48.7、「9」の「文の中で、名詞の複数形、形容詞の比較変化、動詞の活用の運用能力」をみるものが53.3、「8」の「与えられた日本語の意味を表わすように英語の語句を並べ文を構成する能力」をみるものが54.5でともに成績が悪い